

# 院羽鳥後 年百年 さんばんと

承久の海の彼方から

## 島民劇



これぞ、島民劇

### 劇のあらすじ

隠岐島前高校演劇部(架空)は、今年演目は、「海上のごとばんさん」である。「ごとばんさん」(後鳥羽上皇)についてあまり関心がなかった部員達は、後鳥羽上皇についての学びを始める。

鎌倉時代、後鳥羽上皇は、承久3年(1221)に北条義時追討の院宣を発する。これが「承久の乱」の始まりである。鎌倉方19万騎に対して上皇方は2万数千騎。戦いはあつげなく幕府軍の勝利に終わり、後鳥羽上皇は隠岐へお遷りとなる。海を渡る船。静かだった海上は激しく荒れる。上皇は「我こそは新島守よ 隠岐の海の荒き波風こころしてふけ」とお詠みになる。海上は瞬く間に穏やかになった。それから19年間後鳥羽上皇は海上でお過ごしになられ崩御される。島で詠まれた和歌は約700首と言われている。その間、隠岐の豊かな自然環境の中で、島の人々の様々なふれあいがあった。都人だった上皇の心境は、島の暮らしでどのように変わっていったのだろうか高校演劇部員達の後鳥羽上皇への関心は高まっていった。

上演 10月16日(土)の夕刻  
会場 隠岐神社特設ステージ

主催 島民劇実行委員会  
協力・作・演出 劇団幻影舞台  
協力 後鳥羽院顕彰事業実行委員会  
つながる800  
www.gotobain-kensyo.com

